参考資料１

「連携地域別政策展開方針」について

1　方針の概要

「連携地域別政策展開方針」は、北海道地域振興条例に基づき、地域振興を効果的に推進するため、北海道総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、６つの連携地域ごとに策定する地域計画

地域の総力により地域づくりを進めるため、市町村や地域の関係者の参画を得て、令和３年度（令和４年１月）から概ね４年を推進期間として策定

なお、第２期北海道創生総合戦略の「地域戦略」としての位置付けを併せ持つ

2　構成

○　地域のめざす姿

総合計画の終期である令和７年度を目途にめざす地域の姿

○　これまでの取組と課題

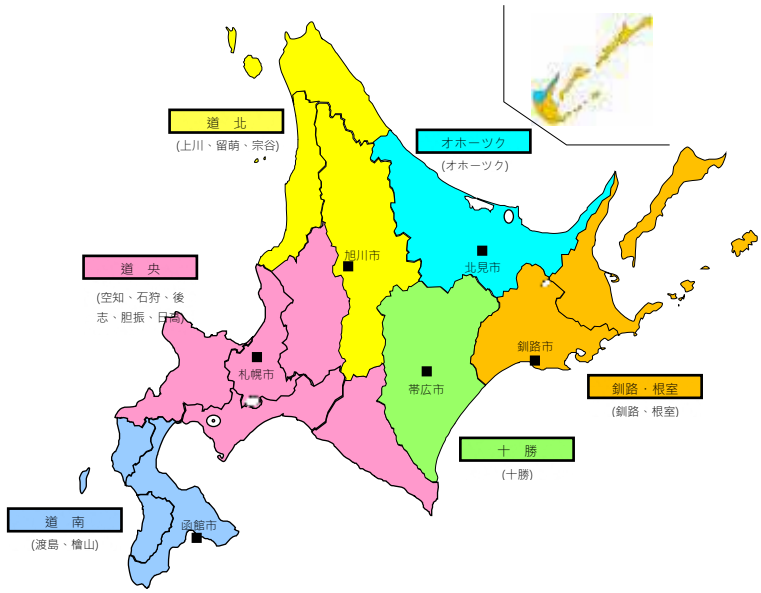
連携地域と振興局所管地域におけるこれまでの取組と今後の課題

○　主な施策の展開方向

方針の推進期間における連携地域の主な施策の方向、振興局所管地域の重点的な施策の方向

○　地域重点政策ユニット

「主な施策の展開方向」に基づき、重点的に取り組むプロジェクト



3　主なプロジェクト

各連携地域は、それぞれの地域のめざす姿の実現に向け、多様な主体と連携・協働して、地域の特性や資源などを活かしたプロジェクトを推進【全 51 プロジェクト】

連携地域(※)	プロジェクト(例)	主な施策	主なＫＰＩ
道央広域 【18ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ】	日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	■次代に「繋ぐ」炭鉄港 ■地域で「稼ぐ」炭鉄港	○炭鉄港推進協議会構成市町への観光入込客数 7,250 千人(R2) →　7,468 千人(R7)
道南 【６ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ】	縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	■縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進 ■遺産を活用した誘客促進	○多言語化など、縄文文化の理解促進に向けて新たな取組を行った施設数（渡島地域） １施設(R2)　→　11 施設(R7)
道北 【13ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ】	魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	■空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化	○観光入込客数（道北連携地域） 2,260 万人(R1) →　2,504 万人(R7)
オホーツク 【５ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ】	オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト	■移住・定住の促進に向けた取組の推進 ■若年層の地元定着促進に向けた取組の推進	○新規高卒者の管内就職内定率 67.7%(R2) →　75.0%(R6)
十勝 【４ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ】	未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト	■自然環境の保全・適正利用や、再生可能エネルギーの利活用などによるゼロカーボン北海道の推進	○ゼロカーボンシティ表明市町村数 １市町村(R2) →　19 市町村(R7)
釧路・根室 【５ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ】	「ゼロカーボン北海道」への貢献プロジェクト	■社会システムの脱炭素化と再生可能エネルギーの最大限の活用 ■森林等の二酸化炭素吸収源の確保と自然環境の保全	○新エネルギー発電設備容量 47.4 万 kW(R1) →　52.8 万 kW(R7)

(※)連携地域を越えた振興局間で取り組むプロジェクトは、主となる振興局が属する連携地域のプロジェクトとしてカウント

4　推進管理

方針を効果的に推進していくため、振興局は「地域づくり連携会議」において、各プロジェクトの進捗状況等の点検・評価を行い、必要に応じて取組内容の充実を図るなど、ＰＤＣＡサイクルによる推進管理を行う